

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	住関連専門店（従業員）	・冷え込みが進み、高単価の秋冬商材の売行きが伸びることに期待したい。加えて、推薦入試を終えた受験生の新生活需要や年末年始の帰省客を迎えるための需要が見込まれる。
	○	商店街（代表者）	・夏は客の動きが悪かったが、平年並みの寒さになったため動き始めた状況である。今後は徐々に良くなり通常に戻り始める。
	○	商店街（代表者）	・12月は名入れサービス業務のほかに年賀状など印刷物が増えていくため景気は良くなるが、1月には減少すると想定している。
	○	商店街（代表者）	・今まで低迷した来客数や客単価が少しずつ増加しており、2～3か月先には希望が持てる。SNSを用いて客への情報提供を増やしていき、今後の可能性に期待したい。
	○	商店街（代表者）	・今後はブラックフライデーや年末商戦、初売りなどイベントが増えるため売上も伸びると期待している。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・景気は年末の売上に左右される。毎年、年末前は売上が落ち込んでいても、年末になると売れる傾向にあるが、今年は先が見通せない。養殖魚の物価が高止まりしており、非常に厳しい商戦になると予想している。
	○	百貨店（企画担当）	・米国の新政権発足により円安基調に進めば、インバウンドの拡大や株式市場への海外資金の流入による株価上昇などが好材料となると判断している。
	○	スーパー（店員）	・物価を下げなければ、国民は消費を控えるばかりで景気は好転しない。米国大統領も変わり、世界各地の紛争が落ち着くとすると、米国は関税を引き上げ、我が国は輸出業に頼れなくなる。日本企業は内需拡大のためにも賃金を上げ、物価を抑えなければ立ち行かなくなると考えており、ここ2～3か月のうちにそういった流れになり、景気が上向いてくることを期待している。
	○	スーパー（総務担当）	・ここに来て寒い日が続いており、今まで低調だった鍋物商材、特に生鮮関係がよく売れるようになり期待が持てる。今後はクリスマス・年末商戦へと消費喚起の環境が続くため幾分上向いていく。
	○	スーパー（経理担当）	・10月に最低賃金が上がった効果を期待していることに加え、電気代補助の効果にも期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・大型補正予算の効果を期待している。
	○	家電量販店（従業員）	・寒くなり暖房器具の需要が増えているため、今後の景気は伸びてくる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新社会人や年度末で環境が変わる人が多くなり、車を購入する人が増えてくる。
	○	乗用車販売店（役員）	・自動車メーカーの認証不正問題の沈静化に伴い、新型車投入が再開されていくことに期待したい。
	○	乗用車販売店（総務担当）	・メーカーから向こう3か月の配車計画が提示された。今後2～3か月は計画以上の配車があるため、今期は好決算が期待できる。
	○	乗用車販売店（役員）	・年末年始の商戦に加え、メーカーの生産が回復基調にあり、登録や納車など販売が増加すると予想される。
○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・例年、11～12月のコーヒー業界では、売上が増加してくる。ギフトシーズンに入り、前月から客が増加傾向であるため、店頭での販売量が増加傾向になる。今後2～3か月先の売上予想も前年比を超える見込みである。	
○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・当ショッピングセンターの商況は閑散期となっており、ここから3か月は大型新店舗やバーゲンセールなどプラス要素が多いため、良化傾向になると判断している。一方、物価高騰や異常気象が継続した場合は、冬物処分が進まずバーゲンセールでの稼働が鈍化するため、悪化する可能性も十分にある。	
○	高級レストラン（経営者）	・来月は繁忙期となり、今月より来客数は多くなる。予約状況は、忘年会が入っているため安心しているが、例年の12月と比較すると人数に関係なく予約が減少傾向である。	

<input type="radio"/>	一般レストラン（スタッフ）	・年末需要で一時的に良くなると予想される。インバウンド需要が多くなっているが、少子高齢化や人口減少により地元客は減少している。
<input type="radio"/>	観光型ホテル（支配人）	・値上げに消費者が慣れた感もあり、宿泊・宴会・婚礼と順調に客を受け入れられている。
<input type="radio"/>	旅行代理店（職員）	・春の旅行需要に期待している。
<input type="radio"/>	旅行代理店（統括者）	・政府の賃上げ政策によりレジャーへの支出が期待される。また、当市の空港の第2滑走路新設に伴いインバウンド及び海外需要の増加や中国のビザ解禁による中国人観光客の増加も予想され明るい話題が多い。
<input type="radio"/>	旅行代理店（統括者）	・春休みの旅行の予約が増えてくる。
<input type="radio"/>	タクシー運転手	・大型クルーズ船の寄港などインバウンドが好調となっている。また、イベントが多くなりホテルの予約も埋まっている状態が続いているため、堅調さを維持できる。
<input type="radio"/>	タクシー（統括者）	・年末年始にかけて観光需要が多くなると予想される。客を確実に獲得できれば、乗務員採用が好調であるため景気は良くなると考えている。
<input type="radio"/>	通信会社（営業担当）	・年末年始で消費が増えることが予想される。
<input type="radio"/>	観光名所（職員）	・店舗の責任者からの報告によると、年末になるにつれ更に来客数が増加すると見込んでいる。
<input type="radio"/>	美容室（経営者）	・美容業界の動きが悪い要因ははっきりしないが、ボーナスが出るため動きが出る。天候にもよるが年末年始の商品の動きには期待できる。商品の動きが非常に悪い状態が続いていたが、今月から1月までは徐々に売上が伸びると期待している。
<input type="radio"/>	理容室（経営者）	・年末に向かうため、業界的には期待できる月になる。
<input type="radio"/>	美容室（店長）	・新型コロナウイルス感染症はどうか落ち着き、外出の機会も多くなるため、若干景気は良くなると予想している。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・所得の上昇が物価の上昇を上回り先行き不安が解消しない限り、消費は上向かない。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・全ての商品の価格が高騰しているため全体的な消費が低迷している。今後価格が下がることはなく、景気は良くなれないと考えている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（店員）	・景気状況が変化する要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	・花屋はクリスマスには需要が多いと考えるが、購買店でもある当店ではクリスマスの売上は伸び悩む状況である。意外にも12月にはお供えの花を贈ることが多くなり、正月の花は通常同様の売上はあるが、1～2月にはイベントが余りないため、売上は例年どおりに伸びないと予想される。加えて、夏の猛暑により花の出来が良くないため、高額になると予想される。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・年末年始は客用や贈答品用として多少の売上は確保できる。個人の客は、米価格が前年より倍になったこともあり日本茶の買い控えが続いている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・クリアランスセールが落ち着き、まだ気温が低い日も続くため、春夏商材の購入にはつながりづらいと予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・クリスマスケーキの予約金額が前年を下回るなど物価高の影響がある。外商は堅調に推移しているが、最も需要がある価格帯の消費が現状以上に旺盛になる要素が見つからない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・物価高の影響で客の節約志向は今後も続くと考えられる。食品催事等の売上の落ち込みは少ないが、衣料品全般の売上が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・店頭価格は上昇しているものの、自家需要商材やし好性の高いブランド品・舶来雑貨の購入意欲は依然として強く、紳士雑貨やインテリア、ブランド品・舶来雑貨の購入意欲は継続している。また、クレジットやコード決済により客単価や商品単価の伸びが見込める。加えて、年末年始の帰省客や国内外の観光客増加により来店が増加し、年末年始商戦の活性化が期待できる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	・今後も節約志向は継続するものの、賃金上昇により年末年始の購買意欲上昇につながることに期待したい。

<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・選挙や税制の変更などの報道が多く、年収の壁の方向性もはっきりしないため、対象ではない消費者も購買の動きが止まると危惧している。物価高や光熱費の高止まりは続いており、生活防衛の買い控えはしばらく続く予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・米国大統領選挙後、関税が上げられる懸念や為替状況も良い見通しではないため、状況に変化はないか若しくは悪くなると予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・年末年始は帰省や旅行、インバウンドによる人の動きが続くと考えられ、コンビニのニーズも拡大すると予測している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・景気についての特段の好材料もないため、横ばいで推移する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・電気代やガソリン代の補助施策がどう影響するか注目しているが、ポジティブな変化には期待が薄い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・政治や世の中の先行きが読めない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・3か月先も何も変化がないと予想される。手取りを増やす対策を採り始めているが、30年間停滞していた政治のほんの一部の話し合いを始めたばかりで、全体として景気が良くなるという気持ちにはなれず、非常に先行きは厳しい状況である。引き続き企業努力をして望みたいと考えている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・物価高で出費は増えていく一方であるが、収入は増える様子もなく、消費が増加する傾向にはならない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・気温低下が例年より遅かったため、今から若干持ち直しそうである。しかし、一時的なことであるため継続はしない。物価高の影響が強く、気温低下以外に上向き要素が見つからない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・年末年始の気温や降水量などは平年並みと予測され、11月のような伸長は余り見込めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が変わるような要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・インバウンドの鈍化と国内の力弱さが一進一退の状態である。富裕層向けのインバウンドは特に一服すると予想している。
<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	・海外の利用客増加が11月の売上を支えたが、国内の利用客は団体利用を中心に減少しているため相殺され景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（専務）	・予約が直近化しているため、全く先が読めない。団体の動きが良くなることを願うばかりである。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（管理）	・相応の売上確保を見込んでいるが、人件費、仕入原価等の上昇傾向が続いており、収益力はさほど変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・忘年会シーズンに入るため、金曜日と土曜日は夜の売上が多くなり、日中の売上は伸びていないと予想される。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・景気の冷え込みはないもののニーズが多様化しており、変動がみられる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・景気が良くなっているため、そのまま維持できると考えている。それ以上のトピックスがないため先行きに変化はない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・物価上昇の継続や値上げ品目の増加等、顧客を含む地域住民を取り巻く環境が好転する兆しがみえない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（従業員）	・通常であれば年末年始を除く12月以降は閑散期となり客が減少するが、アニメとのコラボレーションにより、客が増加し現状が維持されることに期待をしている。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・これまで景気は良かったが、今後もこの状況で推移すると推測する。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・冬場の天候が前年並みとの予報があるため、景気に変化はない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業）	・もし暖冬であれば来場者数は伸びる見込みである。
<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・今月は販売量の動きから景気の上昇はみられない。今後は販売量増加が見込まれるような景気回復要因が見当たらないため、現況と変わりはない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・補助金減額は国の方向性として出ており、負担増加は継続すると考えられる。

□	設計事務所（所長）	・ 今月の結果がでるのは3か月先となるため、2～3か月先の景気は若干良くない。
□	住宅販売会社（従業員）	・ 展示場の来客数や新規資料の入手など大きな変化はなく、商談客の割合も一定数で推移していく。
▲	商店街（代表者）	・ 食品を始めた大手の商品の値上げが続いているが、小規模小売業の商品は値上げしづらいのが現状である。街の和菓子屋の商品を10円値上げするとしばらく売上は落ち、僅かな利益で営業をしているためこれが死活問題となっている。売上が少ないため従業員の給料は現状維持が精一杯である。小規模小売業では店も従業員も厳しい状況が続いており、年末の公務員のボーナス額が明示されるたびに、従業員に対して心苦しくなるのが実情である。
▲	商店街（代表者）	・ 商品の値上げや株価、円安など不景気な社会を感じている。食品など生活必需品は購入しなければいけないが、年末の買物や日用品購入等を節約する雰囲気が出ると危惧している。
▲	百貨店（総務担当）	・ 物価がまだ上昇し、景気は悪くなる。
▲	百貨店（リーダー）	・ 現在が繁忙期であるため、2～3か月先は下り気味になると考えられる。
▲	百貨店（経営企画担当）	・ 相次ぐ値上げにより、購入商品の厳選や来店頻度が減少している。年末年始の消費が相次ぐ時期を過ぎると、支出を控える傾向は更に強くなると考えられる。
▲	スーパー（店長）	・ 様々な商品が大幅な価格上昇を継続しているが、収入の増加は余り望めず消費意欲は減退傾向であり、景況感の見通しは暗い。
▲	スーパー（企画担当）	・ 可処分所得が上がらない状況下で節約志向を払拭することはかなり厳しいとみられる。年末にかけて消費者の購買意欲の低下が懸念されるが、前月までの高気温から、季節らしい気温になれば、購買意欲に変化が出てくると考えられる。
▲	コンビニ（経営者）	・ 今後も物価高が続く。
▲	コンビニ（経営者）	・ 3か月後は近郊に競合店の出店が予定されるため不安要素があり、売上や利益が楽観視できない状況になっている。
▲	コンビニ（店長）	・ 国内や米国の新政権に不安があり、将来に期待できないため今後が懸念される。
▲	家電量販店（店員）	・ 円安が続く限り物価上昇に歯止めがかからず、国内情勢も価格高騰につながる事柄しかないため景気は一層悪くなる。
▲	住関連専門店（経営者）	・ 10月の産業祭りではそれなりに売れたが、それ以降なかなか売上が増えず落ち込んでいる。物価や人件費、仕入価格の値上がりで経費がかかり、同業者間の情報を聞いても厳しい状況である。
▲	観光旅館組合（職員）	・ 冬は雪の影響などもあり、来客数は少し落ちる可能性がある。
▲	観光型ホテル（営業）	・ 先行予約を考えると需要に波があり、上り調子であるとはいえない。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・ 2～3か月後はイベント数など限りがあり、今より下がる予想である。しかし、インバウンドも含め、中長期的には増加傾向である。
▲	通信会社（企画担当）	・ 現状のニーズが充足している状態を打開できない。
▲	テーマパーク職員	・ 寒さが厳しい季節は、客の減少傾向を見込んでいる。
▲	美容室（経営者）	・ 国民や企業の経営状況が徐々に悪化しており、閉店する店舗も増加しているため、生活を保障する対策を早急に望んでいる。
▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・ 寒くなってきたため、除草作業の売上がない時期である。他の事業については、ほぼ横ばいの状況であるため、売上が落ちることが予想される。
▲	学習塾（従業員）	・ 冬季講座に向けて問合せが出始めている。
▲	設計事務所（所長）	・ 材料や製品単価の上昇が見込まれる。それに対して仕事の対価としての人件費は上がらず、地方の中小企業や個人事業で顕著に表れている。また、生活必需品の価格上昇も続くと予想される。
▲	設計事務所（代表）	・ 金利上昇等の影響で、販売量の動きは悪くなる。
×	住宅販売会社（従業員）	・ 先の総選挙の結果により年収問題が検討されているが、消費に金が回らないと考えられるため、景気は良くなる見込みがない。企業の本質や利益を考え、社会還元や投資をすることにより、景気が回復してくると考えている。

企業 動向 関連	◎	—	—
	○	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・年度末に向けた納品が控えているため、若干売上は良くなる。
(九州)	○	化学工業 (総務担当)	・損益は前年との比較で回復傾向にあり、同様の状況が続くと予想される。
	○	一般機械器具製造業 (経営者)	・集中的な営業努力の効果により、大手企業との取引が期待できる。
	○	一般機械器具製造業 (経営者)	・半導体関係の問題が徐々に解決しつつあるため、全体的な動きが良くなっている。
	○	電気機械器具製造業 (取締役)	・作業スペース改善、人員の採用の観点から工場増設に着手しており、今後の増収にも期待を持てる。
	○	金融業 (営業)	・冬物需要や年末商戦など、ベースアップ等により向上したはずの消費力が発揮されることに期待している。
	○	経営コンサルタント (代表取締役)	・自社Webの問合せ件数が増加している。
	□	農林水産業 (経営者)	・年末は正月商戦で期待ができる。インフルエンザによる原料不足も心配であるが、工場は通常どおりに稼働すると考えられる。しかし、1～2月の原料不足も心配であるが、消費もかなり落ち込むため、余り期待ができない。春先以降は、鳥インフルエンザは落ち着き順調になると予想される。全体的に消費については問題なく、特にギフトやふるさと納税が伸びているところである。
	□	家具製造業 (従業員)	・2～3月の年度末に向け徐々に市場は活性化すると予測できるが、1月までは期待を持ってない状況である。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・例年であれば今が1番最盛期にならなければいけないところであるが、今年は前年と変わりなく推移している状態で今後を危惧している。前年の年末はふるさと納税の注文が多かったが、今年の受注を心配している。
	□	輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・大きな生産台数の変化もなく計画どおり推移し、安定している。
	□	その他製造業 [産業廃棄物処理業]	・来年には増産という情報はあるものの、不確定であるため安心はできない。まだ低迷が続く。
	□	輸送業 (従業員)	・例年1～2月の荷動きが良くないため、余り期待はできない。
	□	輸送業 (従業員)	・年末年始に向けて取扱は増加すると予想されるが、高価格帯と低価格帯の2極化は様々なメーカーに波及している。メーカーとしては一定の収益を得られるが、倉庫などは取扱個数や容積等により料金が決まっているため、2極化が進むと取扱量は若干減少傾向となり、厳しい状況となる。
	□	輸送業 (総務担当)	・物価や光熱費、人件費は上昇傾向であるが、荷主への値上げ交渉をしても満額回答を得られるケースは少ない状況である。コロナ禍より景気は確実に良くなっているが、当面現状は変わらない。
	□	通信業 (職員)	・電気工事の受注状況は良いが、情報通信工事に関しては部門としての年度目標額に対して厳しい状況が続いている。特に入札案件の競争が厳しい。
	□	通信業 (経理担当)	・外注費の委託単価や派遣社員の時給など取引先から値上げ要求が強くなっている。人件費に関わるコストの上昇が著しい。一方で、本業の売上は堅調に推移しており、コストアップ分を吸収できている状況である。
	□	金融業 (従業員)	・百貨店やスーパーマーケットの売上は順調に拡大しており、自動車の販売も持ち直しの動きが見られる。一方、住宅販売は今一つ力強さに欠け、人手不足や物価上昇などから先行きをやや慎重にみている企業もある。
	□	金融業 (調査担当)	・ボーナスや年末年始により消費が活気付くことが見込まれるものの、長引く物価高騰が足かせとなり、消費者が慎重な購買スタンスを大きく転換させることは期待できない。当面は賃上げ効果を実感しづらい状況が続く。
	□	金融業 (調査担当)	・金利上昇の影響により企業の設備投資ニーズは停滞が続くと予想され、大きな変化はない。
	□	新聞社 [広告] (担当者)	・正月時期の申込み案件が少なく、好材料が見当たらない。

	□	広告代理店（従業員）	・米政権が交代しても、劇的に情勢が変わることは現状ではないと予想している。今後ウクライナ侵攻やガザ侵攻の休戦がすぐに実行されるかどうかも見通せない。また、国内でも新政権が不安定化しており、すぐに政策の実効性が示されることは考えられず、3か月先も景気に変化はないと予想される。
	□	経営コンサルタント（社員）	・現状維持をベースに新規開拓したいが、新しい動きがつかめない。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客からの情報より、受注量や販売量が減少する見込みである。
	▲	建設業（従業員）	・現在、社会状況が著しく変化しており、来年は新米国大統領が就任し、物価やガソリン価格等が上昇すると予想される。
	▲	建設業（社員）	・手持ち工事が終わってくると非常に苦しい状況になるため、早期の補正予算決定や繰越工事、ゼロ債で多くの工事の発注を期待している。
	▲	金融業（営業担当）	・日本銀行による金利引上げ予想もあり、取引先は警戒感を示している。また、人件費や物価の上昇なども出口のみえない状況であるため、今後もまとまった前向きの資金需要は見込めない。
	▲	不動産業（経営者）	・同業他社や金融機関の担当者の会話では、将来的に明るい話題がない。
	▲	経営コンサルタント（社員）	・値上がりした商品は、数量を減らして購入する傾向にある。
	×	繊維工業（営業担当）	・収入に関する問題で、企業への負担が重くなり休業や廃業していく企業が増加すると予想している。助成金も本当に必要な企業は受給できない。当社も受給できず仕方なく事業を縮小し、今は外注に頼っている状況である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・この先、更に受注減少が見込まれており、米国の関税等の影響により景気が悪くなることが考えられる。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・年末特需のオーダーが増えると見込まれる。
	○	人材派遣会社（社員）	・年度末需要で注文がある時期である。既存の顧客からも既に問合せがある。
	○	人材派遣会社（社員）	・新年度に向け、派遣や人材紹介など求人動きが出てくると予想される。現在稼働中のスタッフに関しては料金改定の時期にも当たるため、改定結果が伴えば派遣でも安定就業へつながると見込んでいる。
	○	人材派遣会社（社員）	・例年より求人数は抑え気味であるが、年末年始に関わる求人が動き始めている。これまで人数で回していた業務も今期からシステムに置き換えるなど、DXが進んでいることも影響の1つとなっている。
	□	人材派遣会社（社員）	・好転するような案件がないため、先行きに変化がない。
	□	新聞社〔求人広告〕（社員）	・年収の壁の見直しや物価高など話題はあるが、景気は横ばいが続く。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・商品価格や物価の上昇などはあるものの、正月商戦や年末年始に伴う人流の活発化などもあり、景気はやや良い状況のまま推移すると予想している。また、インバウンドも感染症などがない限り好調に推移する。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足が続いているが就職件数は伸びていない。事業を廃止する企業もあり景気上昇の要因がみられないことから、今後も横ばいが予想される。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・各大学で行われる合同企業説明会でも企業の参加意欲が高く、人材の取り合いになっている現状を考えると、2～3か月の短期間で状況が悪化するとは考えられない。
	□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・政権政党の政権運営が不安定になることが予想され、今後も物価高騰と大手を除く中小企業の賃上げの先行きが危惧される。実質賃金は継続してマイナス傾向が続いているが、輸出企業を始めとする好調な企業収益が、物価高騰を上回る賃上げや将来を見据えた設備投資の拡大など前向きの支出につながることが期待されている。一方、幅広い業界で働き手不足が続いており、企業の採用意欲は継続すると予想している。

▲		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・物価は需給バランスで成り立っているのは理解できるが、交通費や宿泊料が予想以上に高く、インバウンド需要を口実に乗値上げされているように考えてしまう。賃上げの動きもあるが追いついていないことから、こうした状況がしばらく続くと危惧している。
▲		学校〔専門学校〕（就職担当）	・今年度以降も物価上昇傾向は続くと予想している。
×		—	—